コース名	科目名	シリーズ名	単位数	対象学年
良医の礎	医学研究への扉	EBM・データサイエンスシリーズ	5	2
開講学期	科目責任者	副責任者		
1・2 学期	栗林 太	山内 明,向井 知之,松田 純子		

目的

学内・学外の研究施設を問わず、研究活動に従事している研究者から早期に研究指導を受けることによって研究の重要性と醍醐味を理解し、研究的探究心（リサーチマインド）を育むことを目的とする。

授業到達目標

本科目は、コンピテンス Ⅰ（プロフェッショナリズム）、コンピテンス II（コミュニケーション能力）、コンピテンス III（医学と関連領域の知識）、コンピテンス VI（研究マインドの育成）へとつながる科目である。
1）何事にも知的好奇心を持って取り組むことができる。
2）最先端の研究に刺激を受ける。
3）医療の実践が基礎医学・臨床医学・社会医学の研究に基づいていることを理解する。
4）研究データを適切に記録、管理できる。
5）発表の場に応じて読者・聴衆にわかりやすく研究内容をプレゼンテーションできる。

実務経験のある教員による授業の実施

教育内容に関連する実務の経験を十分に活かした授業を実施している
実務の経験を十分に活かした教育を実施している

授業計画

回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	授業内容	コアカリ項目
1	4/ 6	月	1	講義	山内明	生化	ガイダンス（オリエンテーション）	RE
2	5/13	水	2	講義	大友	分子遺伝医学	人を対象とする医学研究に関する倫理	RE-05
3	6/18	木	3	講義	栗林	生化	ガイダンス（配属教室について）	RE
4	10/28	水	4	講義	栗林	生化	研究データの取扱いと不正防止	RE
5	10/28	水	5	講義	奥村	非常勤／附属病院	「医療紛争と法律」（個人情報保護から医療訴訟まで）	RE-05
6	10/28	水	6	講義	栗林	生化	ガイダンス（演習前）	RE
7～144	11/ 9～12/10	月	1～6	実習	栗林	生化	11 月 9 日～12 月 10 日まで学内・学外の配属教室で実習（演習）	RE-03,RE-04
145～147	12/11	金	1～3	演習	栗林	生化	「学生学術発表会」（口頭発表）	RE-04-01

評価方法

[その他]100%（実習期間中の出欠と態度、抄録・演習報告書提出、当日発表の全て揃うのが評価の前提。）
[評価方法]その他（下記、備考をご参照ください。私の講義時にも言及いたします。）
[備考]実習期間中は全出席。講義・ガイダンスおよび期間最終日（12 月 11 日（金）1～3 時限）の「学生学術発表会」（口頭発表）の出席は必須（講義を欠席した場合は、録画したその講義動画の視聴とレポート提出が必須）。発表に先立ち、抄録を提出し、発表スライドを作成し、自ら発表することが評価の前提となる。当日の発表内容の審査、及び指導教員の評定をもとに、総合的に評価する。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて

演習期間中の演習報告書をフィードバックする。

教科書

科目全体の教科書は特に指定しないが、指導教員の助言・指示に従う。

参考書

科目全体の参考書は特に指定しないが、指導教員の助言・指示に従う。

オープンな教育リソース

準備学習（予習・復習等）

【1 度の授業に対する自宅学習時間の目安】予習：1 時間、復習：1 時間
各実習科の指導教員の指示に従うこと。

講義についての注意事項

各実習科の指導教員の指示に従うこと。実習（演習）のため、時限とおりには進まないこともある。実習（演習）期間中は 17:45 までは対応ができるようにしておくこと。実習（演習）期間中の無断欠席は本科目不合格とお考えください。

科目内で実施予定のアクティブ・ラーニング
科目内で実施する形成的評価
各実習科の実習最終日あるいは後半に知識・技能・態度について指導教員よりフィードバックを行う。
昨年度からの変更点・改善項目
科目副責任者が変更になりました。
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について
研究マインドの醸成、進んで新分野を開拓する探求心、及び自己研鑽を継続できる医師としての必須事項を涵養する。 この科目は、主として 1・2 年次の「医科学の基礎」、「人体の構造と機能Ⅰ・II」、「個体の構成と機能」、「個体の反応・病因と病態」の知識と理解のもとに授業・演習が行われ、主として 3 年次の「データ分析に基づく研究講義」の学修につながります。
ナンバリング
BFMR208